



十一月十九日(水)、二十日(木)に第三回定期テストを実施しました。(※三年生のみ実施)音楽・数・技家を実施した。二日目には、生徒の実力・勉強の成果を、先生が声かけし、励まし、声援を送りました。生徒の頑張りが、先生に伝わりました。生徒の頑張りが、先生に伝わりました。生徒の頑張りが、先生に伝わりました。



学習の成果を出すために全集中！
第三回定期テスト

威風堂々



西崎中学校
校長 宮城 義隆

校長の独り言⑦

言葉の魔力

「先生は私のことを認め、褒めてくれた…本当にありがとう。」以前紹介した教え子からもらった言葉だ。この言葉は今でも私にとって、教職員を意欲的に続けていく大きな原動力になっている。これとは逆に「だまれ、ウザイ、キモイ、○ね！」など、以前、生徒から投げられた心無い言葉は、その当時の私を傷つけ、今でも私の心をざわつかせる。

一方で「言霊」という言葉がある。その意味は「言葉には不思議な力が宿っており、発した言葉通りの結果を引き起こす力がある」とする考え方だ。つまり、ポジティブな言葉はポジティブな結果を生み、ネガティブな言葉はネガティブな結果を生む、ということらしい。

また、生徒の皆さんが良く知っている「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」という言葉もある。「ふわふわ言葉」は「相手を温かく幸せな気持ちにする優しい言葉」で「ちくちく言葉」は「相手の心を傷つけ、嫌な気持ちにさせる言葉」である。

これらのことから、私たちが日常生活で当たり前に使っている「言葉」は、使い方次第で、周囲の人々に元気や勇気を与え、逆に周囲の人々を傷つけ、嫌な思いをさせる場合があるのだ。

著名人の斉藤茂太さんが「言葉は薬にもなれば、凶器にもなる」との名言を残している。人はちょっとした言葉で救われたり、何気ない一言で傷ついたりする。言葉の影響力は本当に大きい。

これらのことから、私たち教職員はもちろん、生徒の皆さんも言葉の影響力の大きさを理解した上で、周りが元気になり、明るく前向きになるような言葉を意識的に発していきませんか。

フクフクをイラストで見事に表現！
修学旅行のしおりイラストコンクール
美術の時間に取り組んで
た修学旅行のしおりイラスト
コンクールにおいて、玉城莉
々佳さんの作品が見事、金賞
に輝き、その表紙になること
が決定しました！他の受賞作
品も挿絵等で使用するそう
す。おめでとうございます！



すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして